

## I これまでの議論の経過

### 議論の展開

#### 第1回会議（令和3年8月20日）

＜テーマ＞教育の抱える課題から見た今後の学校のあり方について

##### ＜議論内容・共有事項＞

国及び本市共通の課題、本市固有の課題、国における議論等をふまえ、堺がめざす学校として、

- ①小中一貫した教育を行う学校
- ②学校の裁量権限の拡大及び校長のリーダーシップやマネジメント拡大

を示し、「子どもの未来をつくる学校～自主性・自律性に富んだ自立した学校～」の議論を深めることについて共有

#### 第2回会議（令和3年11月15日）

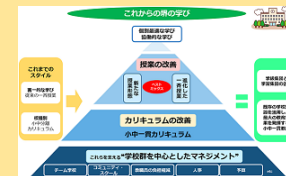
＜テーマ＞新たな学校のあり方について

##### ＜議論内容・共有事項＞

教育が抱える課題の解消と次代を担う子どもたちの未来を見据え、急激に変化する時代に生きる子どもたちの資質・能力を育むため、**これからの堺の学び（個別最適な学び・協働的な学び）の実現に向けた方向性**として、

- ①授業の改善（進化した一斉授と新たな授業形態のベストミックス）
- ②カリキュラムの改善（小中一貫カリキュラムの推進）
- ③これらを支える“学校群を中心としたマネジメント”

を示し、**今後、中学校区を一体的にマネジメントする小中一貫教育体制の構築の必要性について共有**



### 課題の共有 及び問題提起

### 枠組み提示

### 総括及び 今後の方向性

## II 第3回会議の議論の方向性

#### 第3回会議（令和4年2月17日）

＜テーマ＞新たな学校のあり方について～新たなステージへ～

##### ＜議論内容・共有事項＞

第1回・第2回会議をふまえ、総括的に「次代を担う子どもたちの未来を見据えた堺市の考え方」と「これからの堺の学び」を示すほか、「授業の改善」、「カリキュラムの改善」、「学校群を中心としたマネジメント」の具体的なイメージ及び令和4年度以降の制度設計に向けた主な検討事項について示し、**堺がめざす「新たな学校のあり方」や、その実現に向けて令和4年度以降に制度設計等の取組を実施することを共有**